

Title	哲学第129集編集後記; 2011年度三田哲学会編集委員; 2011年度三田哲学会役員
Sub Title	
Author	真壁, 宏幹(Makabe, Hiromoto)
Publisher	三田哲學會
Publication year	2012
Jtitle	哲學 No.129 (2012. 3) ,p.217- 217
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000129-0217">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000129-0217</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

今号への投稿も比較的多く、その内の7本を論文、1本を研究ノートとして掲載することができた。各方面のご協力に感謝する次第である。

今号の特徴は、慶應を卒業され他大学で研究されている中堅の研究者の投稿が複数あったことである。会員資格の関係(会費納入)で受理できなかったケースも含めるともっと審査対象は増えていた。三田哲学会は卒業されると自動的に会員ではなくなるので、改めて会費納入を申し込まねばならない。このことを忘れていらっしやるケースがあり、残念だった。

分野的には心理学の論文を載せることができ嬉しいことに思う。三田哲学会を構成している専攻には、哲学・倫理

学・美学美術史学、社会学、心理学、教育学、人間科学があるわけで、毎回は難しいにせよ、なるべくバランスの良い構成がのぞまれる。

ところで、今年度は3.11の影響で慶應でも学事日程や危機管理上でいろいろと対応を迫られた。『哲学』125集、126集も紙や印刷インクの供給が滞り、刷れない状態が続いた。最終的には、遅れたものの、無事、刊行できた。現代がいかにもいろいろなものが緊密、かつ微妙なバランスで結びつき、もろいバランスを形成している時代であるかを改めて教えられた。現代社会が「危機社会」であることを痛感させられた年だったといえる。(眞壁宏幹)

### 2011年度三田哲学会編集委員

齋藤慶典(哲学)  
 奈良雅俊(倫理学)  
 後藤文子(美学美術史学)  
 鈴木正崇(社会学)  
 大森貴秀(心理学)  
 眞壁宏幹(教育学)  
 織田輝哉(人間科学)

### 2011年度三田哲学会役員

会長	樽井正義
会計監査	坂上貴之
幹事長	西脇与作
幹事(庶務)	岡原正幸
幹事(編集)	眞壁宏幹
幹事(会計)	今井芳昭